

平成29年 3月29日

松山河川国道事務所

国道33号松山外環状道路インター線
全線開通後3ヶ月間の交通状況について

平成28年12月10日(土)に全線開通した、国道33号松山外環状道路
インター線の全線開通後3ヶ月間の交通状況をお知らせします。

市坪IC～余戸南IC間の利用交通量が増加(資料1)

- ・開通後3ヶ月間の自動車専用道路部の交通量は、約10,900台/日
- ・開通前に比べ約2倍に増加

開通前：約5,600台/日 ⇒ 開通後：約10,900台/日

【利用交通量】

※土曜、日曜、休日および年末年始(平成28年12月28日から平成29年1月4日)を除く

開通前：平成28年9月1日～平成28年11月30日

開通後：平成28年12月12日～平成29年3月3日

※また、松山環状線(天山交差点及び和泉交差点)から
松山ICへの所要時間が短縮しています。

※本施策は、四国圏広域地方計画の広域プロジェクト【No.5 地域の自立的・持続的発展
に向けた「資国」産業競争力強化プロジェクト】の取組みに関連します。

問い合わせ先：四国地方整備局 松山河川国道事務所 計画課

副所長(道路)：庄野 達也(内線：205)

◎ 計画課長：高井 健一(内線：261)

代表 089-972-0034

直通 089-972-0415

FAX 089-972-8117

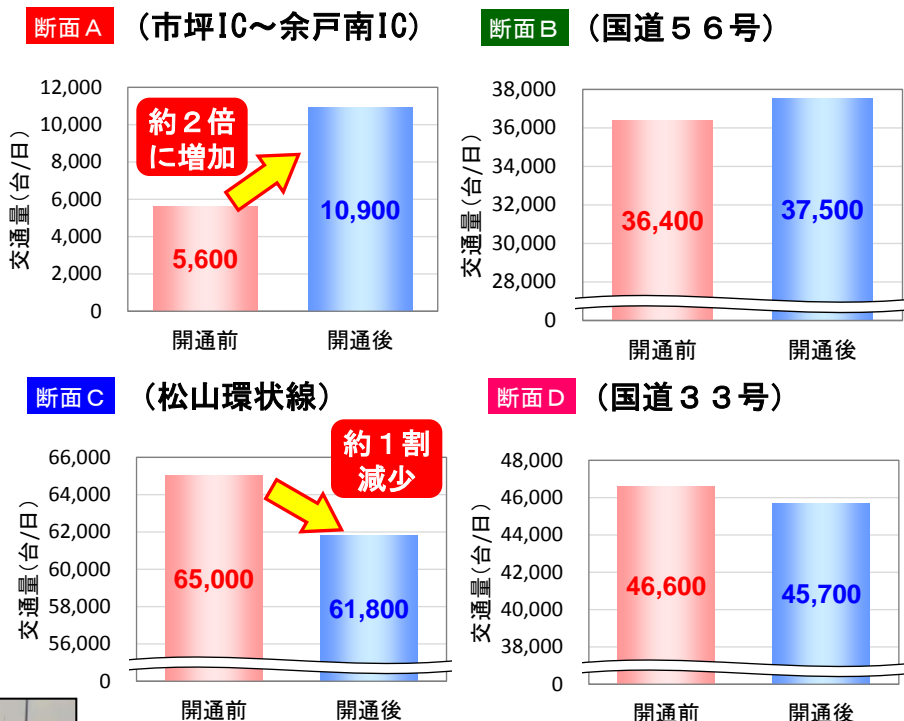
【資料1】市坪IC～余戸南IC間の交通量が増加 ～開通後3ヶ月間の交通状況～

- 松山外環状道路インター線開通後3ヵ月間の自動車専用道路部の交通量は、**約10,900台/日**で、**開通前に比べ約2倍に増加**。
- 周辺道路では、松山環状線が**約61,800台/日**で**開通前に比べ約1割減少**。

位置図



開通前後の交通量の変化 (平日)



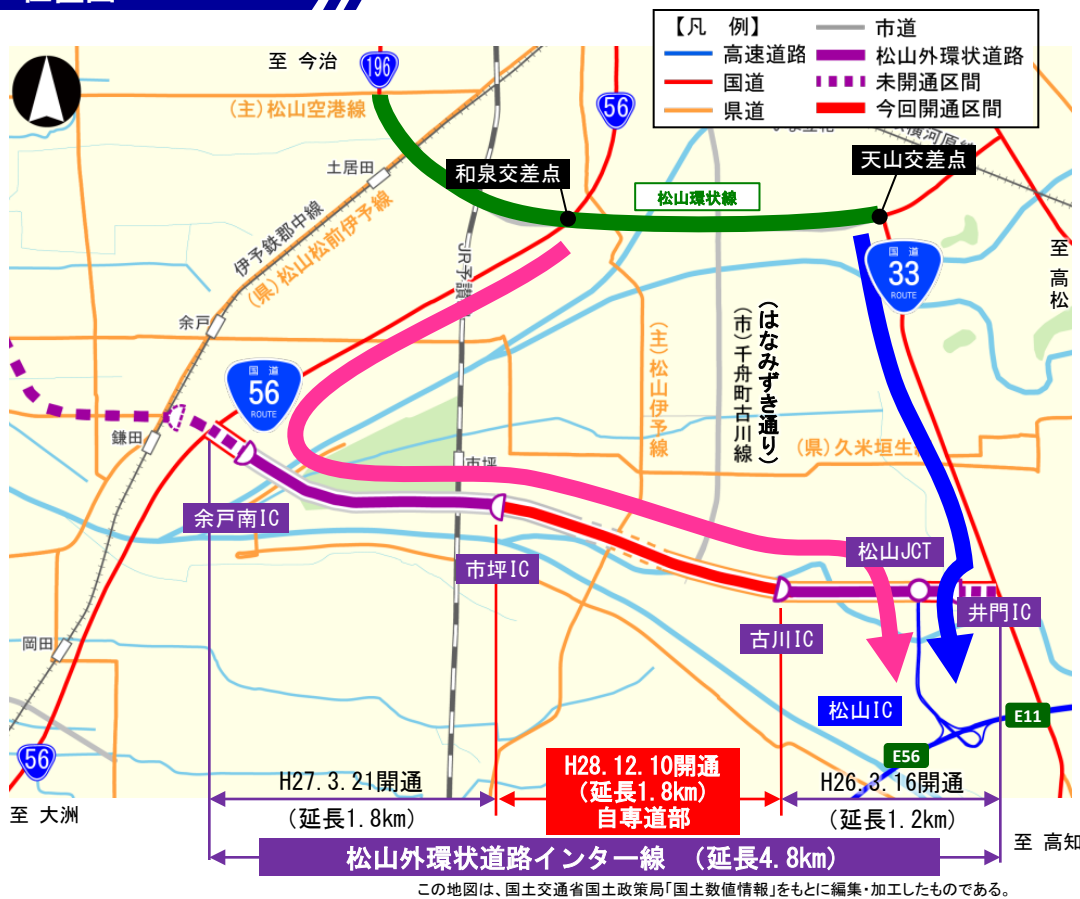
〈データ出典〉
 下記期間の平日平均交通量
 ※土曜、日曜、休日および年末年始(平成28年12月28日から平成29年1月4日)を除く
 開通前：平成28年 9月 1日～平成28年11月30日
 開通後：平成28年12月12日～平成29年 3月 3日
 ※断面A, B : 国土交通省データ
 断面C, D : 警察データ

【参考】松山環状線から松山IC間の所要時間が短縮 ～開通後3ヶ月間の交通状況～

○開通前に比べ、松山環状線から松山IC間の所要時間が、国道33号ルートで約1分短縮。

国道56号・松山外環状道路ルートでは約2分短縮。

位置図



〈データ出典〉
 ETC2.0プローブデータ
 ※土曜、日曜、休日およびGW(平成28年4月28日から平成28年5月8日) お盆(平成28年8月6日から平成28年8月16日)
 年末年始(平成27年12月26日から平成28年1月4日、平成28年12月28日から平成29年1月4日)を除く
 開通前:平成27年12月1日～平成28年11月30日(確定値)
 開通後:平成28年12月12日～平成29年3月3日(12月、1月確定値)
 ※7時～19時の平均値で比較

所要時間の変化(平日・昼間)

